事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29000	道路維持管理費

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	172	市道の維持補修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	管理班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

●認定市道及び法定外公共物において、道路排水路清掃、街路樹の維持管理等、道路に関する委託事業と作業員を常備することにより道路補修等、住民の要望に速やかに対応する。
【課員】道路排水路の日常的な管理業務
【作業員】主に道路の整地、草刈り、側溝清掃
【委託業務】市道植込(ツツジ、桜)保守、街路樹の維持管理、草刈り
【作業員】常時8人

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故、2次災害防止の目的及び排水路維持管理のため

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

大型ダンプ等の通行により市道・農道の舗装の傷みが激しい。また、大雨による道路の冠水が発生している。
住民から道路舗装の陥没及び穴の補修の要望がある。また、農業用排水路について、家庭雑排水を放流している関係上、地元の生産組合管理の排水路等に堆積土があり流れが悪く、大雨が降ると道路が冠水するケースが発生しており、住民から苦情がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動		提供するモノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
道路の維持管理を行う	➡	利用者(市民)が適正に管理された道路を通行	➡	道路の安全性が向上し、利用者(市民)が安心して通行できる。	➡	市道の整備	➡	安全で快適な道路の整備	➡	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

【道路の維持管理を行う】
・道路排水路等清掃委託の実施
・道路維持管理(道路パトロール)

② 活動指標

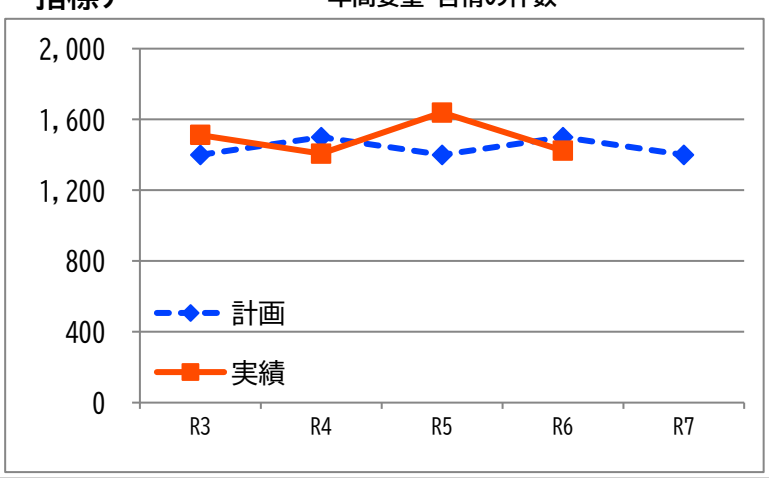
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	道路の定期草刈り箇所数(委託実施)	箇所	計画	22	20	20	20	20
			実績	17	20	20	11	
イ	作業員による道路補修等	件	計画	700	700	700	700	700
			実績	638	593	692	586	

③ 成果指標

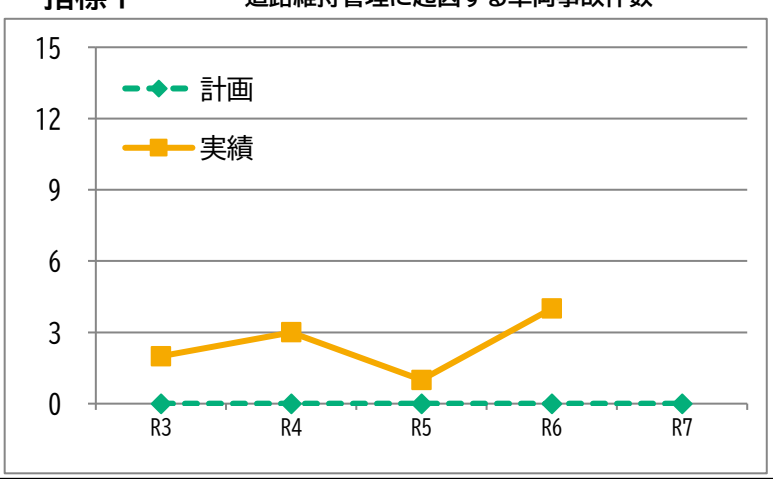
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	年間要望・苦情の件数	減らす	件	計画	1,400	1,500	1,400	1,500	1,400
				実績	1,512	1,407	1,639	1,424	
イ	道路維持管理に起因する車両事故件数	減らす	件	計画	0	0	0	0	0
				実績	2	3	1	4	

④成果指標の動向

指標ア　年間要望・苦情の件数



指標イ　道路維持管理に起因する車両事故件数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 賃金	17,115	17,453	21,855	28,347	30,062
	2. 需用費	8,846	13,453	14,339	15,363	20,692
	3. 委託料	19,012	18,893	22,953	22,623	23,100
	4. 工事請負費		14,610	9,327		12,771
	5. 原材料費	9,983	8,772	8,935	8,281	10,000
	6. その他	9,785	10,519	4,318	10,399	5,779
	合計	64,741	83,700	81,727	85,013	102,404
財源内訳	国・県支出金					
	地方債		13,700	8,500		12,700
	その他					
	一般財源	64,741	70,000	73,227	85,013	89,704
	一般財源の比率	100.0%	83.6%	89.6%	100.0%	87.6%

② 従事職員数

常時	8	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.賃金	報酬、職員手当、費用弁償
2.需用費	光熱水費、修繕料、燃料費、消耗品費
3.委託料	道路排水路等清掃委託
4.工事請負費	河川等浚渫工事
5.原材料費	原材料費
6.その他	労災等保険料、役務費、機械借上料等

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	
地方債	河川等浚渫事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

賃金：期末手当追加
工事請負費：皆減
その他：R6車両購入（ホイールローダー）

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	定期的なパトロールや通報により、道路の不具合箇所や危険個所を早期に把握・対応し、適正な維持管理に努めている。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	判定： 向上	分析(変動の要因や対策について)：適切な時期に事前対応による処理で、苦情・要望件数を縮小させる。
	指標イ	判定： 伸び悩み	分析(変動の要因や対策について)：道路パトロールを強化し、危険個所等の早期発見・対応により事故件数を縮小させる。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	継続実施		引き続き定期的な道路パトロールなどにより、危険個所等を早期に把握し、早期対策に取り組み、道路利用者が安全・安心して通行できる道路環境の維持管理を実施する。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29200	道路維持補修事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	172	市道の維持補修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

道路は毎日たくさんの車や歩行者が通ることにより、時間が経つにつれて傷んでしまうことから、良好な状態に保つ必要がある。道路表面にできた穴やひび割れを埋めたり、舗装を新しくしたりすることにより傷みや劣化を修理し、道路を安全かつ快適に使える状態に戻すことを目的としている。

道路の破損状態を把握するため、定期的にパトロールを実施している。

緊急性の高い補修工事は、迅速に対応できるよう年間で業務委託を行っている。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

交通量の増加とともに、道路舗装の破損を起因とする車両事故も増加したことから、車両事故防止を図るため事業を実施している。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

交通量の増加、とくに大型車両の増加により、既存の舗装構成では道路の強度が不足している路線があり、舗装のひび割れなどが多くの箇所で発生している。

道路の破損によるタイヤのパンクや自転車の転倒事故は依然として発生していることから、パトロールの強化や早急な補修などの対応が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
道路維持補修工事の実施 道路パトロールの実施	道路の利用者に安全かつ快適な道路環境を提供する	道路への要望・苦情件数の減少 道路維持管理に起因する車両事故件数の減少	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

・道路維持補修工事の実施
道路維持補修工事　41件(225,045千円)
道路維持補修工事(年間委託)　77件(22,481千円)

・道路パトロールの実施
定期パトロール(1回／週)の実施

② 活動指標

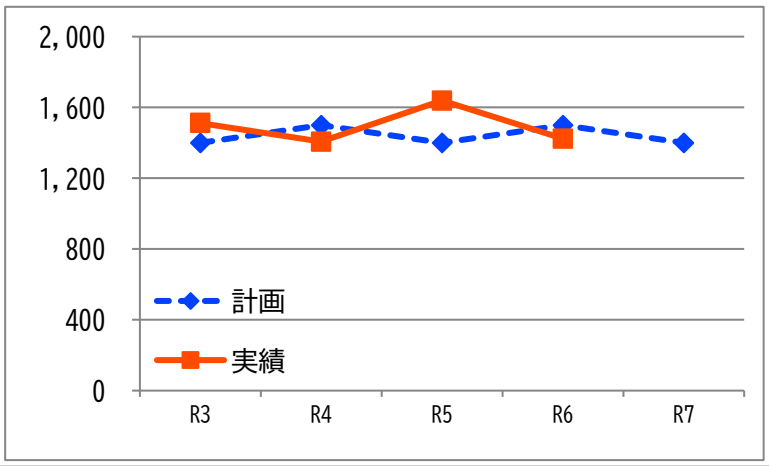
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	維持補修延長(年間委託実施分を除く)	m	計画	4,130	5,100	5,400	4,160	2,976
			実績	4,570	6,856	5,651	4,293	
イ	年間委託による維持補修件数	件	計画	64	70	70	75	75
			実績	66	72	85	77	

③ 成果指標

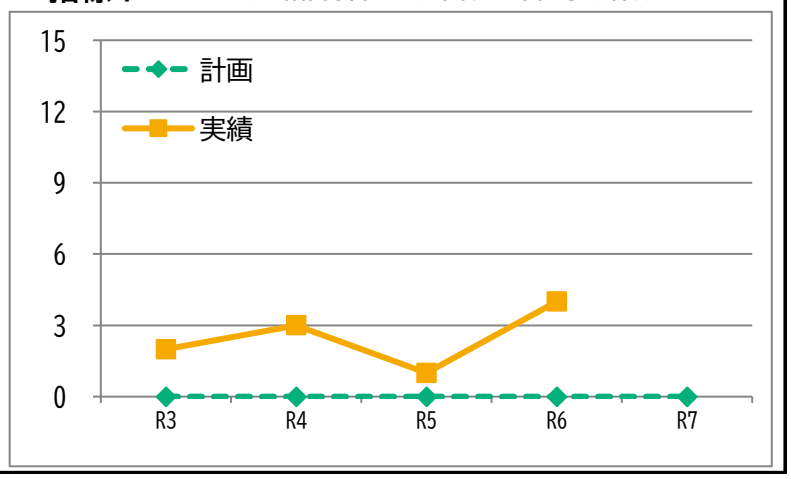
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	年間要望・苦情の件数	減らす	件	計画	1,400	1,500	1,400	1,500	1,400
				実績	1,512	1,407	1,639	1,424	
イ	道路維持管理に起因する車両事故件数	減らす	件	計画	0	0	0	0	0
				実績	2	3	1	4	

④成果指標の動向

指標ア　年間要望・苦情の件数



指標イ　道路維持管理に起因する車両事故件数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 道路補修委託料	19,028	21,471	18,912	22,481	27,610
	2. 調査･測量委託料					25,146
	3. 道路舗装改修工事	307,443	329,657	312,537	237,516	197,835
	4. 負担金補助及び負担金				110	
	5. その他					
	合計	326,471	351,128	331,449	260,107	250,591
財源内訳	国･県支出金					12,500
	地方債	215,700	271,500	255,900	189,200	152,600
	その他					
	一般財源	110,771	79,628	75,549	70,907	85,491
	一般財源の比率	33.9%	22.7%	22.8%	27.3%	34.1%

② 従事職員数

常時 12 人

最大 人 × 日 ＝ 延べ 人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.道路補修委託料	77件
2.調査･測量委託料	
3.道路舗装改修工事	41件
4.負担金補助及び負担金	1件（ガス管移設）
5.その他	

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国･県支出金	
地方債	道路維持補修事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

1.道路補修委託は、補修件数は減ったが、1箇所あたりの工事費が上がったため。
3.道路舗装改修工事は、予算の減とともに施工延長も減少したが、道路維持管理に起因する車両事故件数は概ね低く抑えることができている。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	予算は減少したが、道路維持管理に起因する車両事故件数は低く抑えられ、道路環境を良好な状態に維持することができたものの、道路に関する要望･苦情は多く寄せられていることから、引続き道路環境の改善が必要である。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) 適切な時期に事前対応による処理で、苦情･要望件数を縮小させる。
	指標イ	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) 道路パトロールを強化し、危険個所等の早期発見･対応により事故件数を縮小させる。

	判定	方針	判定･方針の詳細
③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR7以降の方針）	継続実施		今後も道路環境を健全な状態に保ち、安全で快適な道路を提供するため、維持補修を継続して実施していく。成果指標のさらなる減少を実現するため、日常パトロールを行い苦情や事故につながる前の道路メンテナンスに努めていく。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29300	交通安全施設維持補修事業

施策体系			
基本施策	28	防犯対策・交通安全の強化
施策の展開	61	交通安全環境の整備
戦略事業名	254	交通安全施設維持補修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。
・交通安全施設・・・防護柵(ガードレール)、照明灯、標識(案内標識、警戒標識)、区画線、路面表示、カーブミラー等
・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険個所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また通学路合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

交通事故の減少を目的として事業が開始された。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。
市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
①市道の危険箇所への安全対策の実施 ②通学路点検で上げられた要望への対策の検討・実施	危険箇所への交通安全施設等の新設・更新	市道利用者(市民)の安全性の向上	交通安全環境の整備	防犯対策・交通安全の強化	将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

交通安全施設の新設・更新
通学路の危険箇所への対策

② 活動指標

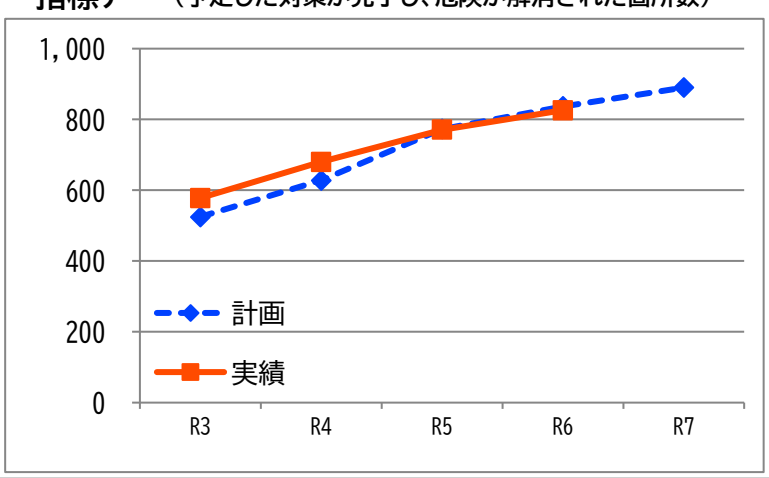
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	防護柵新設・更新延長	m	計画	200	350	415	220	160
			実績	327	550	151	225	
イ	カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	計画	25	25	25	29	25
			実績	29	24	18	30	

③ 成果指標

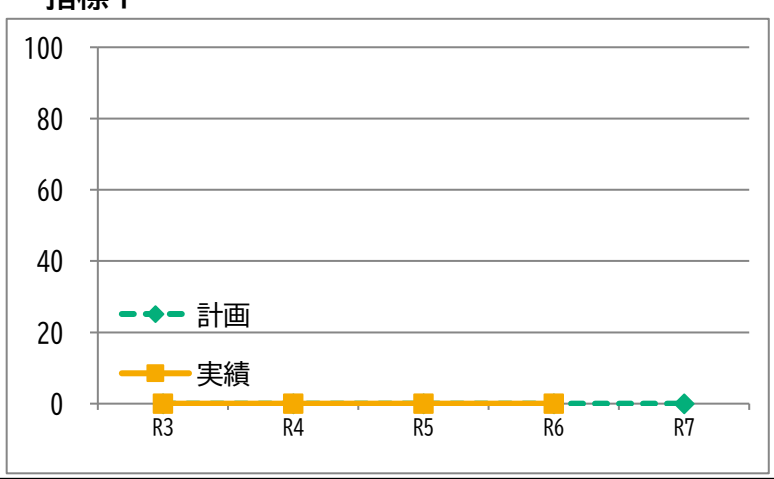
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	増やす	箇所	計画	525	628	773	837	890
				実績	578	680	771	826	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 維持補修費	810	1,079	688	1,273	898
	2. 工事請負費	20,538	24,267	30,245	19,869	17,072
	3. 原材料費	795	798	790	717	898
	4. 委託料	6,212	6,497	6,364	10,173	9,988
	5. 負担金補助及び交付金					
	合計	28,355	32,641	38,087	32,032	28,856
財源内訳	国･県支出金					
	地方債	1,000	1,500			
	その他		6,497	6,400	26,253	27,060
	一般財源	27,355	24,644	31,687	5,780	1,796
	一般財源の比率	96.5%	75.5%	83.2%	18.0%	6.2%

② 従事職員数

常時	1	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.維持補修費	交通安全施設の維持補修（主に照明灯の電球交換）
2.工事請負費	交通安全施設全般の新設・更新
3.原材料費	カーブミラー、道路標識の購入費（職員直営の補修に使用）
4.委託料	カーブミラーの新設・維持補修
5.負担金補助及び交付金	

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国･県支出金	
地方債	交通安全施設維持補修事業債
その他	ふるさと応援基金

⑤ R5→R6　増減理由

要望箇所が多く、対応箇所が増加したため。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	各要望･通学路への安全対策が順調に進捗できているため。

		判定	分析(変動の要因や対策について)
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	好調維持	R5年度に比べ、R6予算が増加し、多くの箇所の対策を行うことができた。
	指標イ		

	判定		方針	判定･方針の詳細
③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR7以降の方針）	継続実施			市民から多くの要望、通学路点検があり、対策が必要な箇所が多々残っているため、引き続き安全対策の検討･実施を行い、安全な道路環境の整備を図る。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29400	急傾斜地崩壊対策事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	174	急傾斜地崩壊対策事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	令和元年度			
根拠法令	急傾斜の崩壊による災害の防止に関する法律			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

急傾斜地やこれらに隣接する土地のうち斜面の崩壊により住民の生命に危害のおそれのある区域の保全を図る。本事業については実施主体は県となるが、特定要件により市が行うことがある。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

急傾斜地崩壊危険区域に指定されていない区域の斜面の崩壊による被害を防ぐため。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

地震や大雨等による土砂災害が全国的に増加し、問題となっている。
台風や大雨による土砂崩れが市内でも発生しており、地域住民から不安の声が上がっている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
①千葉県施行による急傾斜地崩壊対策事業に伴う負担金 ②法面対策のための設計・工事の実施	急傾斜地の法面対策	急傾斜地の崩壊から人命の保全	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

見広2地区急傾斜地崩壊対策事業(千葉県施行に伴う負担金)

② 活動指標

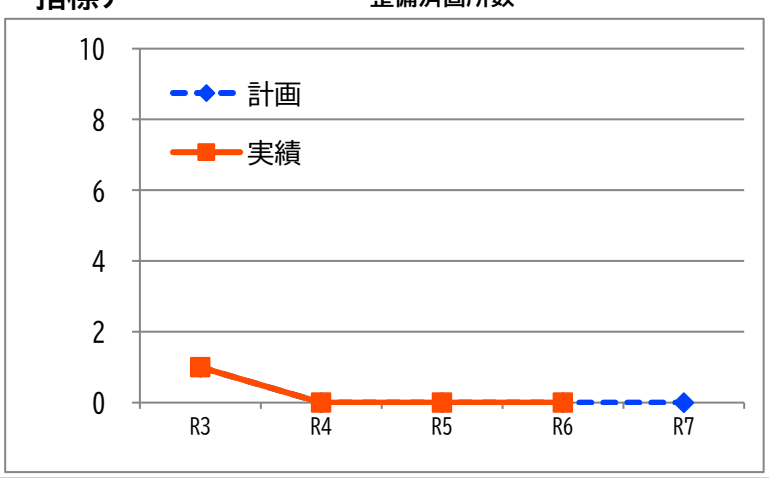
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	測量設計業務委託の実施	件	計画	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	
イ	法面復旧工事の実施	件	計画	1	0	0	0	0
			実績	1	0	0	0	

③ 成果指標

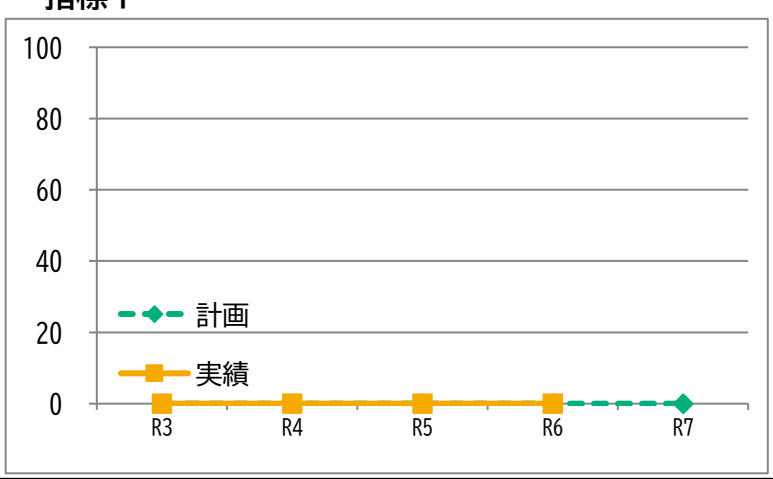
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	整備済箇所数	増やす	箇所	計画	1	0	0	0	0
				実績	1	0	0	0	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　整備済箇所数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 調査･設計委託料					
	2. 法面復旧工事	8,573				
	3. 土地等借上料					
	4. 負担金	1,654	1,518		9,281	14,319
	合計	10,228	1,518	0	9,281	14,319
財源内訳	国･県支出金					
	地方債	10,228	1,500		9,200	14,300
	その他					
	一般財源	0	18	0	81	19
	一般財源の比率	**0.0%**	**1.2%**		**0.9%**	**0.1%**

② 従事職員数

常時	1	人						
最大		人	×		日	＝	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.調査･設計委託料	
2.法面復旧工事	
3.土地等借上料	
4.負担金	千葉県緊急急傾斜地崩壊対策事業負担金

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国･県支出金	
地方債	緊急自然災害防止対策事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

県事業の進捗により地元負担金（事業費の２割）を支出したことによる

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		**概ね順調**	千葉県が急傾斜地崩壊対策工事を行っており、市が負担金を支払った。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	**好調維持**	千葉県が急傾斜地崩壊対策工事を行っており、市が負担金を支払った。
	指標イ		

	判定		方針	判定･方針の詳細
③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR7以降の方針）	**継続実施**			千葉県が急傾斜地崩壊対策工事を行っているため、事業が完了するまでは負担金が必要となる。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29600	道路新設改良事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	171	道路新設改良事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

道路新設改良事業は、道路の新設や既存道路を拡幅整備することにより、交通の円滑化、安全性の向上、地域経済の活性化を目的としている。
また、道路冠水被害の軽減を図るため、排水不良箇所に排水施設を整備する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

車社会の到来により、狭小な昔ながらの道路では歩行者などの安全な通行や緊急時の通行に支障が生じる。生活の根幹となる道路の拡幅整備により都市基盤整備の推進となる。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

道路改良率は、ゆるやかに上昇しているが十分なものとはいえない。また、用地取得の難しさや工事に多額の費用が必要であり、計画から事業完了までに時間を要することから、市民の要望に十分対応できていない。
一方で、人口減少社会においては、これまでに建設した道路の維持管理費の負担感が大きくなってきており、整備すべき路線の取捨選択をしていかなければならない。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動		提供するモノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
道路改良工事の実施 道路排水整備工事の実施	➡	道路の利用者に安全かつ快適な道路サービスを提供する	➡	道路改良済延長の増加 道路改良率の増加	➡	市道の整備	➡	安全で快適な道路の整備	➡	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

道路改良工事の実施
道路改良工事　16件(155,480千円)

道路排水整備工事の実施
道路排水整備工事　28件(73,258千円)

② 活動指標

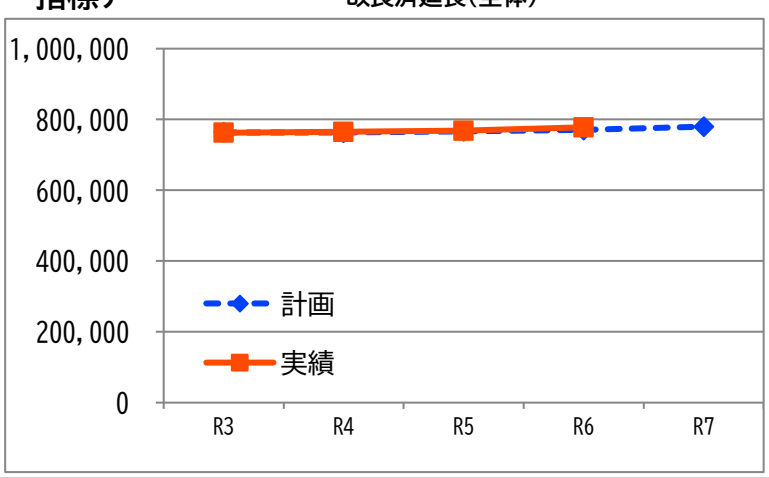
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	整備延長(単年度)	m	計画	2,203	2,635	1,813	1,760	1,051
			実績	2,215	1,986	801	1,524	
イ	整備対象路線数	路線	計画	24	30	16	12	10
			実績	32	34	41	38	

③ 成果指標

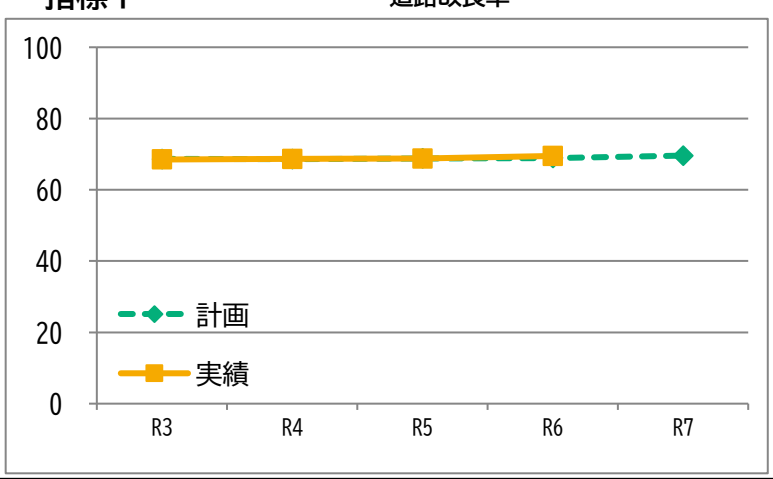
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	改良済延長(全体)	増やす	m	計画	763,600	763,115	766,698	770,052	779,641
				実績	762,390	764,885	768,415	777,836	
イ	道路改良率	増やす	%	計画	68.7	68.6	68.8	68.9	69.6
				実績	68.5	68.7	68.8	69.5	

④成果指標の動向

指標ア　改良済延長(全体)



指標イ　道路改良率



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 道路改良工事	45,385	79,178	78,097	155,480	251,749
	2. 道路排水工事	122,898	172,565	123,246	73,258	100,730
	3. 道路舗装工事	5,444				
	4. 道路用地購入費	2,085	1,147	10,981	3,441	49,447
	5. その他	7,119	9,538	30,739	29,731	18,746
	合計	182,931	262,428	243,063	261,910	420,672
財源内訳	国・県支出金					127,600
	地方債		2,600	18,752	13,300	91,700
	その他			5,084	1,485	
	一般財源	182,931	259,828	219,227	247,125	201,372
	一般財源の比率	100.0%	99.0%	90.2%	94.4%	47.9%

② 従事職員数

常時	13	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.道路改良工事	15件
2.道路排水工事	28件
3.道路舗装工事	–
4.道路用地購入費	7件
5.その他	業務委託　5件　土地借上　2件　物件補償　3件

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	
地方債	道路新設改良事業債
その他	道路改良工事負担金

⑤ R5→R6　増減理由

道路改良工事は、用地取得の進捗により改良工事の施工件数が増加した。
道路排水整備工事は、道路側溝の老朽化による更新工事などにより、概ね前年度と同程度の工事件数となった。
道路用地購入費は、微増のみ。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	令和6年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成した。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	好調維持	令和6年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成し、改良済延長が向上した。
	指標イ	好調維持	令和6年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成し、道路改良率が向上した。

③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	判定		方針	判定・方針の詳細
	見直し	➡	縮小	人口減少が見込まれる本市においては、交通量の減少と道路整備のための財源の減少が確実であり、今後は既存ストックの維持管理に重点を置かなければならず、道路の新設改良事業は縮小方向へ見直すものとする。なお、新たに拡幅舗装などの整備を行う路線の選定にあたっては、今後見込まれる交通量や安全性の向上等の効果を十分に検討したうえで事業化する。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29700	冠水対策排水整備事業

施策体系			
基本施策	20	居住環境の充実
施策の展開	40	住み良い住環境の確保
戦略事業名	188	広域排水計画の策定

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成25年度			
根拠法令	特になし			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

市域全域について、排水計画を策定する。
・流域・流末調査
・排水整備事業に反映する

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

合併により、旧市町区域を横断的に計画策定できる状況になったことから、より効率的な整備を行うため、市域全域を対象とした排水計画を策定する。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

(イ地区)　平成28年度に詳細設計を実施した。平成29年度に工事着手し、令和6年度末時点で進捗率は85.8%である。令和7年度の完成を目指す。
(ニ・ハ地区)　令和4年度に詳細設計を実施した。令和5年度に工事着手し、令和6年度末時点で進捗率は8.5%である。令和10年度の完成を目指す。
(後草地区)　令和4年度に詳細設計を実施した。令和5年度に工事着手したが、周辺住民との調整に不測の日数を要しており、令和6年度末時点で進捗率は0%である。早期完成へ向けて、引続き周辺住民の理解を得られるよう交渉を継続する。

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 排水路整備工事	ニ・ハ地区、後草地区における排水路の供用	冠水被害の解消	住み良い住環境の確保	居住環境の充実	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

イ地区
・排水路整備工事　40.27m
・家屋事前調査業務委託　6棟
・ガス管切廻し工事負担金

ニ・ハ地区
排水路整備工事　59.5m(R5繰越工事)
排水路整備工事　155.67m(R7繰越工事)
家屋事前調査業務委託　2箇所

後草地区
排水路整備工事　60m(R7繰越工事)
家屋事前調査業務委託　2棟(R6繰越工事)

② 活動指標

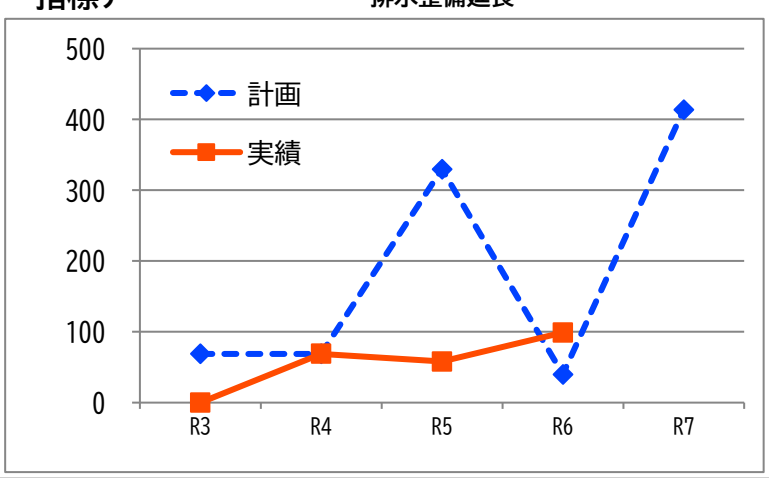
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	排水計画策定	地区	計画	0	2	0	0	0
			実績	0	2	0	0	
イ			計画					
			実績					

③ 成果指標

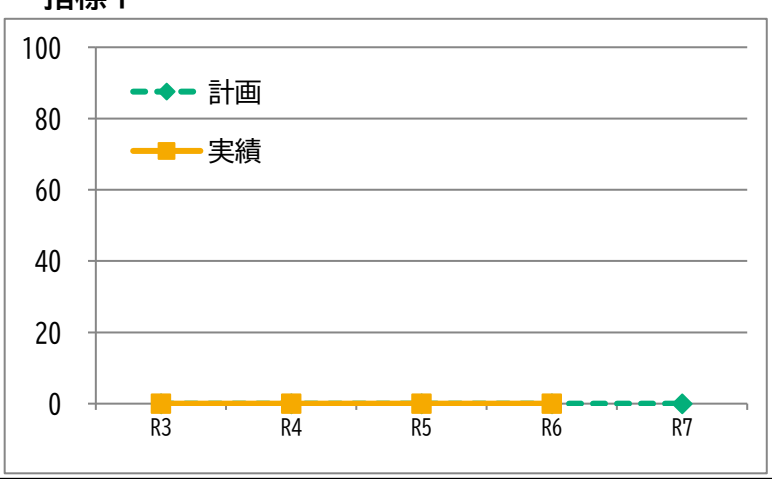
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	排水整備延長	増やす	m	計画	69	69	330	40	414
				実績	0	69	58	99	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　排水整備延長



指標イ



(3)コストの状況

（単位：千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 委託料	6,813	21,657	2,343	2,860	7,370
	2. 補償補填及び賠償金	10,834	795	984	10,503	58,333
	3. 地域排水工事	25,160	106,140	126,953	130,950	350,262
	4. その他		7,499	50,639	145	115,603
	合計	42,807	136,090	180,919	144,458	531,568
財源内訳	国・県支出金					
	地方債	33,100	129,200	171,600	137,000	504,500
	その他				5,666	25,025
	一般財源	9,707	6,890	9,319	1,792	2,043
	一般財源の比率	22.7%	5.1%	5.2%	1.2%	0.4%

② 従事職員数

常時	3	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.委託料	家屋事前調査業務　10棟
2.補償補填及び賠償金	排水路整備工事に伴う物件補償
3.地域排水工事	排水路整備工事
4.その他	

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	
地方債	冠水対策排水整備事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

イ地区におけるガス管切廻し工事が生じたため、補償補填及び賠償金が増額した。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	イ地区は、令和6年度工事が予定どおり完了した。また、令和6年度工事の事前準備として、関係機関へ占用管の移設工事を依頼し、次年度以降の工事進捗に向けて準備を行った。 ニ・ハ地区は、令和5年度繰越工事が完了したが、令和6年度工事が繰り越しとなり、令和7年度6月までに完成を目指す。 後草地区は、令和5年度繰越工事で地元調整に不測の日数を要し、令和7年度に繰り越しとなり、令和7年度完成を目指す。

		判定	分析(変動の要因や対策について)
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	向上	イ、ニ及びハ地区での排水路整備工事が進捗し、排水整備延長が向上した。
	指標イ		

	判定		方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	継続実施			ニ・ハ地区、後草地区、イ地区で排水整備を行い、冠水被害を抑える。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30000	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	34	主要道路の整備
戦略事業名	158	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成21年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

交流基盤を強化するため、飯岡三川地区と海上蛇園地区を連絡する新設道路を整備する事業である。
整備後は、東総広域農道から国道126号までを直結できるため、広域的な道路網が形成され地域間交流の活性化が期待できる。
また、現在の地区内道に代わる道路となるため、地区内の通り抜け車両と軽減できるほか、沿岸部で整備中の津波避難道路を補填し、地区住民の避難道路としても、防災力の向上が期待できる。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

1市3町合併時に策定した新市建設計画の主要施策として事業化したものである。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

事業費が一般的な道路整備に比べ大きいため、その財源確保が課題となっていたが、国土強靱化地域計画に基づく事業であり、国費の重点配分の対象事業となったことから、財源確保について改善している。
道路整備は事業費が大きいことから、事業の効果・必要性が問われている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 道路改良工事	飯岡海上連絡道三川蛇園線の開通	道路整備により地域間が結ばれる。また地区内道路に代わる道路であり、地区内道路の通り抜けの防止し、地区住民の交通環境が向上する。避難道路として地域の防災力が向上する。	主要道路の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

道路改良工事
　道路改良工事　7件
　附帯工事　5件
　樹木移植工事　1件
用地買収
　用地取得　1件

② 活動指標

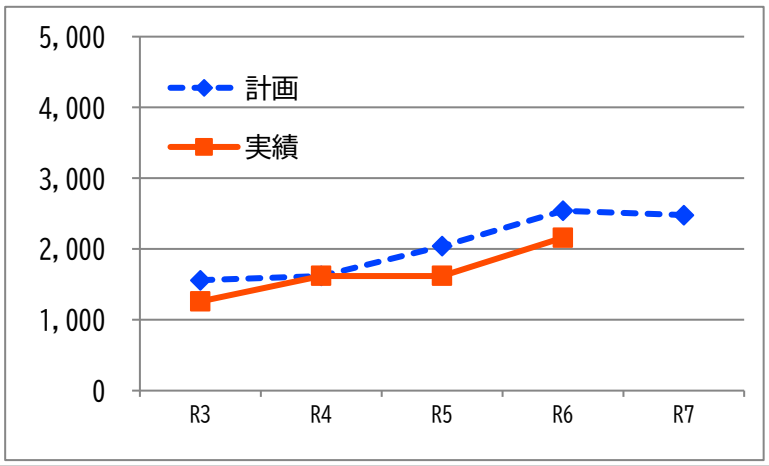
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	整備延長(単年度)	m	計画	300	360	420	920	320
			実績	0	360	0	540	
イ			計画					
			実績					

③ 成果指標

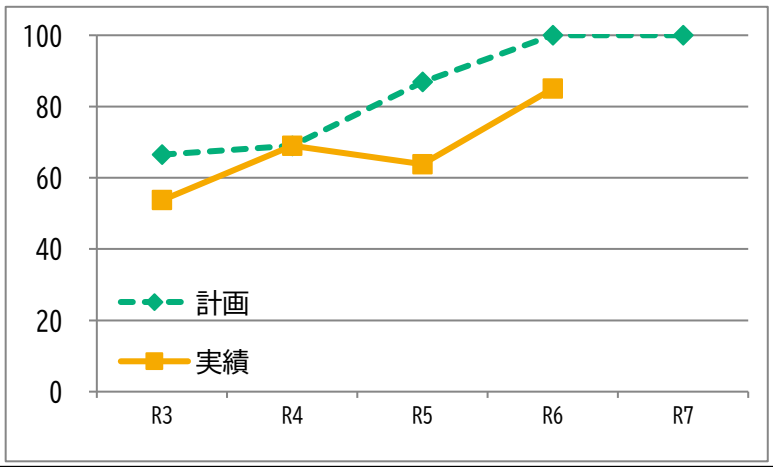
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	道路整備延長	増やす	m	計画	1,560	1,620	2,040	2,540	2,480
				実績	1,260	1,620	1,620	2,160	
イ	整備率	増やす	%	計画	66.5	69.0	86.9	100.0	100.0
				実績	53.7	69.0	63.8	85.0	

④成果指標の動向

指標ア　道路整備延長



指標イ　整備率



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 委託料	532,463	419,128	546,565	15,713	12,945
	2. 工事請負費	31,530	83,422	77,742	318,247	316,062
	3. 用地費	1,968			18,277	40,082
	4. 補償費		627			4,380
	5. その他	3,493	3,493	3,493	468	240
	合計	569,454	506,670	627,800	352,705	373,709
財源内訳	国･県支出金	183,599	228,049	337,263	110,660	13,255
	地方債	363,200	265,600	268,500	210,000	296,800
	その他					
	一般財源	22,655	13,021	22,037	32,045	63,654
	一般財源の比率	4.0%	2.6%	3.5%	9.1%	17.0%

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.委託料	測量及び道路詳細設計　不動産鑑定　物件調査
2.工事請負費	道路改良工事　7件　附帯工事　5件　樹木移植工事　1件
3.用地費	1件
4.補償費	
5.その他	土地等借上料　3件

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国･県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

委託料はR5年度に鉄道横断工事委託が完了し、減少している。
工事請負費はR5年度から繰り越しした道路改良7件が完了し、増となっている。
用地費は、難航地権者の用地取得が完了し、増となっている。
歳入の国・県支出金については、鉄道横断工事委託が完了し、交付金対象が道路改良工事のみとなったことから減少している。
道路整備計画延長は、三川地区で地元調整により未着手となっている区間60mを除き、2540m→2480mに修正した。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	R6年度は交渉を重ねてきた用地を取得することができた。 R5年度から繰越しで実施ししていた道路改良工事が完了し、整備延長を伸ばすことができた。 R6現年工事は、排水路整備工事の支障物移転の遅れにより、設計を修正したことからR7年度に繰越ししたが、順調に工事進捗している。排水路整備工事の遅れに関連して、道路改良工事･信号機移設も繰越しとなっている。

② 成果指標の推移（R5→R6）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	好調維持	R5年度から繰越しで実施ししていた道路改良工事が完了し、整備延長を伸ばすことができた。R6現年工事が完了していないことから、計画延長を達成できていないが、順調に推移している。
	指標イ	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) R6現年工事が完了していないことから、計画整備率を達成できていないが、工事は順調に進捗している。

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR7以降の方針）	判定	方針	判定･方針の詳細
	継続実施		R7年度内の完成に向けて、未整備区間の工事、未取得用地の交渉を引き続き行っていく。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30100	南堀之内バイパス整備事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	34	主要道路の整備
戦略事業名	159	南堀之内バイパス整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成19年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

国道126号から、(主)大栄・栗源・干潟線までを結ぶ本路線を整備することで、広域的なネットワークが確立され、首都圏へのアクセスも多様化するなど地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化が図られる。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

①産業振興の発展
②通勤時間帯の渋滞緩和・利便性の向上

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

難航していた用地取得は完了したが、10年以上前に設計した道路線形に修正が生じ、工事発注が困難。
早期完了を望む要望が多数有

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 道路改良工事	南堀之内バイパスの供用	市民の安全・安心かつ円滑な道路交通の確保による地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化	主要道路の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

国営大利根用水との交差部に箱型函渠築造工事を実施した。(R6繰越工事)
取付道路約90mの道路改良工事を実施した。(R6繰越工事)
道路改良工事(第1工区)を実施する。(R7繰越明許)L=154m
道路改良工事(第2工区)を実施する(R7繰越明許)L=86m
道路改良工事(第3工区)を実施する(R7繰越明許)市道部L=78.6m　県道部L=231.5m
信号機移設工事を実施する(R7繰越明許)

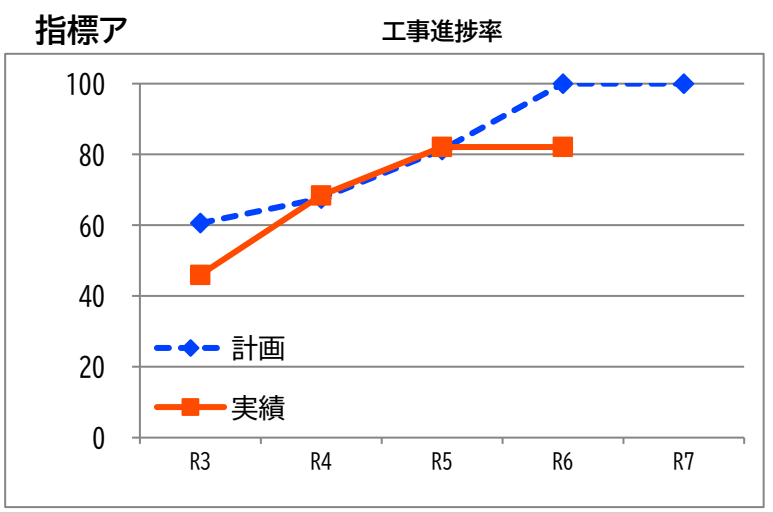
② 活動指標

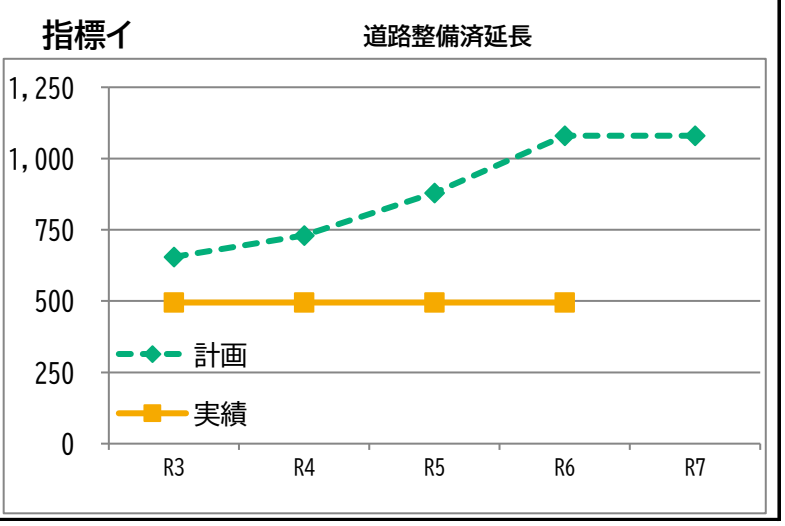
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	用地買収率(面積ベース)	%	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
イ	整備延長	m	計画	60	235	140	193	193
			実績	0	244	148	0	

③ 成果指標

	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	工事進捗率	増やす	%	計画	60.6	67.6	81.3	100.0	100.0
				実績	46.0	68.4	82.1	82.1	
イ	道路整備済延長	増やす	m	計画	655	730	879	1,080	1,080
				実績	495	495	495	495	

④成果指標の動向





(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 委託費	3,185			1,243	
	2. 工事費	112,826	155,967	234,272	200,342	241,852
	3. 用地費					
	4. 補償費			1,246	811	
	5. 土地等借上料					
	合計	116,011	155,967	235,518	202,396	241,852
財源内訳	国・県支出金	45,985	58,672	5,742		
	地方債	68,181	97,200	229,700	202,300	240,800
	その他					
	一般財源	1,845	95	76	96	1,052
	一般財源の比率	1.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%

② 従事職員数

常時	1	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R6決算)	
1.委託費	交差点協議資料作成業務委託
2.工事費	道路改良工事
3.用地費	
4.補償費	電柱移転費
5.土地等借上料	

④ 特定財源の詳細(R6決算)	
国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	南堀之内遊正線整備事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

交差点協議に修正業務が生じたため
工事の施工に伴い、電柱移転費が必要となったため。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	令和7年度供用開始に向け用地取得は終了している。施工中に判明した軟弱地盤への対策検討に時間を要しているため工事に遅れが生じている。 早期に地盤の再調査、工法の検討を行い、令和7年度中の供用開始に努める。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	伸び悩み	地盤状況等の不良により、工事に遅延が生じている。 早期に地盤の再調査、工法の検討を行い、令和7年度中の供用開始に努める。
	指標イ	伸び悩み	地盤状況等の不良により、工事に遅延が生じている。 早期に地盤の再調査、工法の検討を行い、令和7年度中の供用開始に努める。

③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		令和7年度中の供用開始に向け、既に用地取得は終了しており、軟弱地盤に対する工法の検討の課題はあるが、事業完了に向け概ね順調に進捗しているため。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30110①	震災復興・津波避難道路整備事業（主要道路からの観点）

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	34	主要道路の整備
戦略事業名	160	震災復興・津波避難道路整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成25年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容（何をする事務事業なのか）

東日本大震災の津波被災地域における避難道路の整備及び被災地域の復興のための重要路線の整備を実施する。
横根・三川線（飯岡地区と津波避難場所である飯岡中学校を結ぶ路線） L=1.3km （平成25～）
椎名内・西足洗線（椎名内地区と災害拠点病院及び防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線） L=3.0km （平成26～令和5年度）

② 開始の経緯（なぜこの事務事業を始めたのか）

災害時の避難道路の確保や被災地域と防災拠点のアクセス向上を図るため。

③ 環境の変化・課題・意見等（現状で問題などはあるか）

用地取得の進捗が課題。
住民からは事業の早期完了が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け（何を目指しているのか）

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 物件補償 道路改良工事	津波避難道路の整備	避難道路を整備することにより、災害発生時の被害軽減と、被災地域の復興を図る。	主要道路の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

横根・三川線
千葉県警察本部との道路協議完了
道路改良工事　L=390m
交差点形状の変更に伴う用地測量　1件

② 活動指標

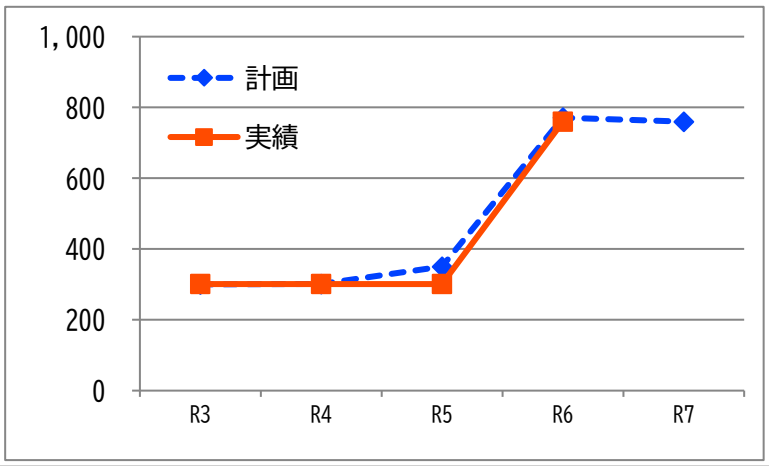
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	用地取得率（横根・三川線）	%	計画	87	90	90	90	90
				100	100	100	100	100
	用地取得率（椎名内・西足洗線）		実績	87	87	87	87	
				91	91	91	91	
イ	整備延長（横根・三川線）	m	計画	370	250	440	481	0
				1320	930	0	0	0
	整備延長（椎名内・西足洗線）		実績	61	305	0	450	
				1404	430	290	0	

③ 成果指標

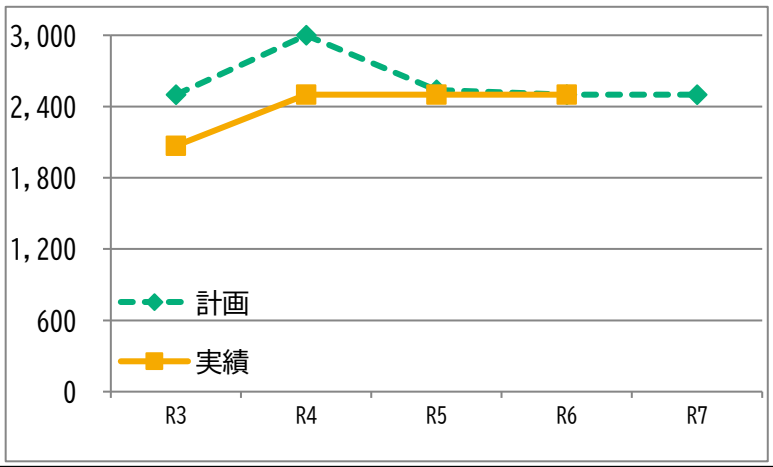
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	供用済延長（横根・三川線）	増やす	m	計画	300	301	350	771	760
				実績	301	301	301	760	
イ	供用済延長（椎名内・西足洗線）	増やす	m	計画	2,500	3,000	2,540	2,500	2,500
				実績	2,070	2,500	2,500	2,500	

④成果指標の動向

指標ア　供用済延長（横根・三川線）



指標イ　供用済延長（椎名内・西足洗線）



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 道路改良工事	341,808	149,590	72,828	138,789	12,000
	2. 補償金	24,745		855	2,510	1,418
	3. 委託料	443	946	8,925	702	8,088
	4. 用地購入費	7,295			0	1,099
	5. その他	38	166			
	合計	374,329	150,702	82,608	142,001	22,605
財源内訳	国・県支出金	112,260	23,353			
	地方債		50,700	28,700	141,900	
	その他		11,900			
	一般財源	262,069	64,749	53,908	101	22,605
	一般財源の比率	70.0%	43.0%	65.3%	0.1%	100.0%

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.道路改良工事	1-064号線、1-065号線 道路改良工事
2.補償金	物件補償費
3.委託料	用地測量
4.用地購入費	道路用地購入
5.その他	土地等借上料

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	震災復興・津波避難道路整備事業債
その他	東日本大震災復興交付金

⑤ R5→R6 増減理由

警察との道路協議が終わり、本格的に工事が可能になったため、工事費が増となった。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	横根三川線 千葉県警察本部との道路協議が完了し、県道飯岡片貝線から国道126号までを工事し、暫定供用を行った。 椎名内西足洗線 銚子連絡道路との交差区間を除き完成した。
② 成果指標の推移（R5→R6）	指標ア	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) 横根三川線 千葉県警察本部との道路協議が完了し、県道飯岡片貝線から国道126号までを工事し、暫定供用を行った。
	指標イ	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) 椎名内西足洗線 銚子連絡道路との交差区間を除き完成した。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR7以降の方針）	継続実施		横根三川線 未取得用地の交渉を継続する。 椎名内西足洗線 終点側(西足洗地区)において、銚子連絡道路と交差するため、道路線形を再度検討する必要があり、千葉県と調整を進めていく。

事務事業評価シート　令和 6 年度事後評価・決算

令和 7 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30220	橋梁長寿命化修繕事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	173	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	4
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成25年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R6主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

旭市橋梁長寿命化修繕計画に基づいた、予防保全型の維持管理を行う。
旭市管理橋梁　314橋

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

従来の対処療法的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

進展する橋梁の老朽化に対し、効率的かつ効果的な維持管理を行う必要がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
橋梁の点検・設計・補修工事	橋梁長寿命化計画に基づき、健全度が低い橋梁への工事	健全度の改善された橋梁	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R6の主な活動や実績

無名橋外2橋補修設計し、袋橋外2橋の補修工事を行い、健全度の回復を図った。

② 活動指標

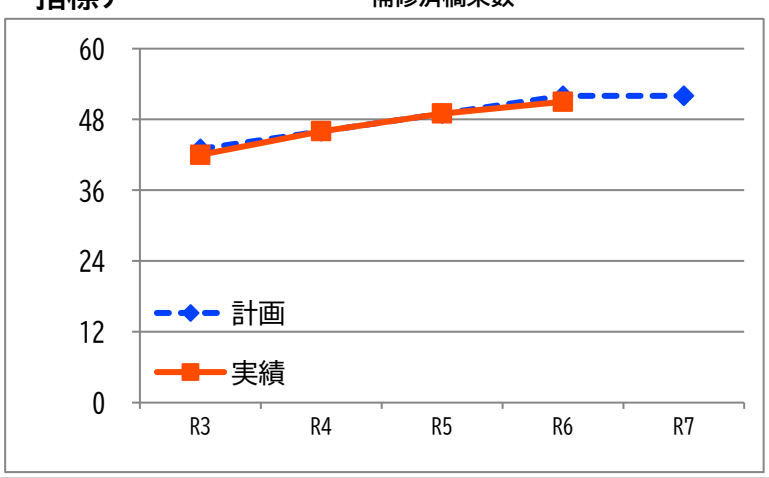
	活動指標	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	補修橋梁数	橋	計画	6	4	3	3	1
			実績	5	4	3	2	
イ	点検橋梁数	橋	計画	97	2	0	74	139
			実績	106	2	0	75	

③ 成果指標

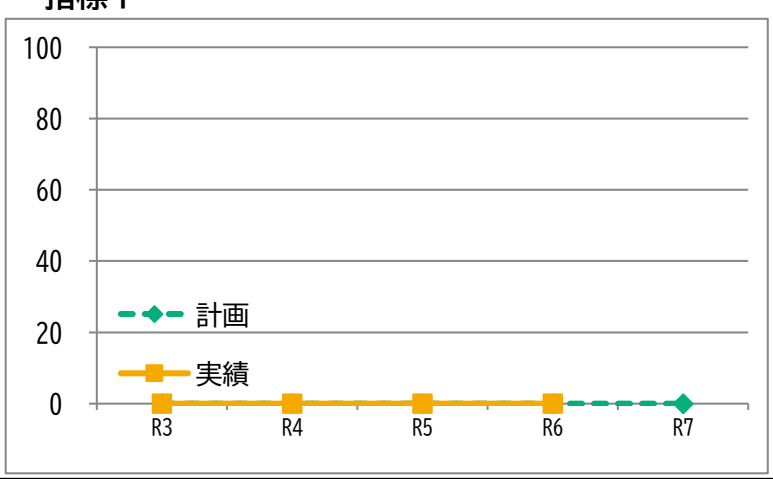
	成果指標	方向性	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ア	補修済橋梁数	増やす	橋	計画	43	46	49	52	52
				実績	42	46	49	51	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　補修済橋梁数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
費目内訳	1. 工事請負費	7,817	23,444	12,406	2,629	33,800
	2. 委託料	30,473	14,570	7,466	37,710	60,288
	合計	38,290	38,014	19,872	40,339	94,088
財源内訳	国･県支出金	11,037	4,037	5,260	3,786	38,965
	地方債		15,400	2,000	200	7,600
	その他					
	一般財源	27,253	18,577	12,612	36,353	47,523
	一般財源の比率	71.2%	48.9%	63.5%	90.1%	50.5%

② 従事職員数

常時	4	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R6決算)

1.工事請負費	橋梁改修工事
2.委託料	調査・設計委託、調査・測量委託

④ 特定財源の詳細(R6決算)

国･県支出金	道路メンテナンス事業費補助金
地方債	橋梁改修事業債
その他	

⑤ R5→R6　増減理由

工事が繰越となったため減となった。
定期点検委託を行ったため増となった。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	点検結果に基づき、対象橋梁の設計を行っている。

② 成果指標の推移（R5→R6）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	好調維持	橋梁長寿命化計画に基づき工事を行った。
	指標イ		

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR7以降の方針）	判定		方針	判定･方針の詳細
	継続実施			修繕計画の更新 橋梁維持補修工事の発注 橋梁設計業務委託